

### 第3回あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議 議事要旨

開催日時 令和4年7月19日(火)15時から

開催場所 あべのフォルサ6階 601、602 教室

出席者

- (1) あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議メンバー(五十音順)  
池内、左川、城下、室崎
- (2) 消防局職員  
予防部地域担当課長  
予防課地域担当副課長  
予防課地域担当係長  
予防課地域担当

議題懇談

- (1) 前回会議の課題等について
- (2) 近隣施設をセットにした学習提案について
- (3) Fコースの屋内消火栓放水体験(総合訓練室)
- (4) その他

#### ●事務局

お待たせしました。

ただいまより第3回あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議を開催させていただきます。各メンバーの皆様におかれましては、本日お忙しい中お集まりいただき、どうもありがとうございます。私は、本日進行役を務めさせていただきます消防局予防課 地域防災担当係長の木野でございます。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに消防局予防部地域担当課長の中道より、あいさつ申し上げます。

#### ●事務局

本日はどうもあべのタスカル魅力向上アドバイザー会議に御出席いただきましてどうもありがとうございます。

私は消防局予防部予防課 地域防災担当課長の中道でございます。

平素は、消防行政の各般にわたり、深い御理解と温かい御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

あべの防災センターは、新型コロナウイルスの影響で閉館期間があるなど、難しい現状もございます。

さて、当アドバイザー会議につきましては今回で3回目ということで、アドバイザーの皆様から頂いておりました、御意見や御提案を検討し、改善した点や、新たに作成したものを来館者の皆様に喜んでいただけるよう活用させていただいております。

今後につきましてもあべのタスカルのより良い運営を行っていくため、ハード面やソフト面の両面からもさらに充実強化し、来館していただいた市民の方々に確実に防災について学んでいただけるよう、適宜見直しを行うことが、何よりも重要であると考えております。

本日は、今年度新たに開設いたしましたコースについても御紹介させていただきます。

大阪市消防局といたしましても、アドバイザーの皆様方と一体となって、さらなるあべのタスカルの魅力向上を目指し、精一杯取り組んで参る所存でございます。

最後になりましたが、本日は最後までどうぞよろしくお願いいたします。

#### ●事務局

それでは、ただいまより第3回あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議の議題に入りたいと思います。

その前に、オブザーバーとして、指定管理者である一般財団法人大阪消防振興協会の職員と(株)ジェイ・アクシスの職員にも会議に御出席をいただいております。

会議の中で御質問等がございましたらよろしく願いいたします。

では最初に、お手元の資料の確認をさせていただきます。

- 【資料1】あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議資料
- 【資料2】令和3年度 大阪市立阿倍野防災センター事業報告書
- 【資料3】令和4年度 大阪市立阿倍野防災センター事業計画書

以上でございますが、不足しているものはございませんか？

それでは、本日の議題に移らせていただきます。

議事の進行を座長よりよろしくお願いいたします。

#### ●座長

それでは、早速議題の審議に入ります。

- (1) 前回会議の課題等について、審議に入ります。  
この件について、事務局より説明していただきます。

## ●事務局

まずパワーポイントの資料をもとに進めさせていただきます。

参考としまして、令和3年度の来館者数をまとめさせていただきましたので【資料1】の1ページをご覧ください。

令和3年度は来館者数41,969人、内防災学習体験エリアは17,019人となっております。

また、2ページにはリニューアルオープンした令和元年度の来館者数を昨年度と比較しており、コロナ禍の影響により大幅に来館者数が減少していることがわかります。

3ページには今年度4月からの来館者数をまとめておりますが、今年度4月から通常どおり開館して運営していることもあり、コロナ禍前の水準に戻りつつあるのがわかります。

それでは前回会議の課題等について、御説明をさせていただきます。

資料の4ページをご覧ください。

前回会議の議事録を基に課題を列記させていただきました。

- ① 体験コースの整理
  - ② 事前・事後学習について
  - ③ ラインスタンプについて
  - ④ 「レスキューパンダたすける」の活用
  - ⑤ 近隣施設をセットにした学習提案
  - ⑥ その他
- と、列記しております。

5ページをご覧ください。

課題への対応状況について、御説明させていただきます

6ページをご覧ください。またお手元にも当シートを御用意しておりますのでそちらもご覧ください。

①体験コースの整理につきまして、各体験コースの内容、達成目標について明記し、わかりやすく選択できるようにいたしました。

Cコースにつきましては「自分の命を守るために自助について学ぶことができる」タスカルコース及び、「周りの人を守るために、共助について学ぶことができる」助けるコースを新設しております。

7ページをご覧ください。

また、当会議で御提案いただいたオフィスや工場向けのコースの設置の件や、昨年度大阪市の此花区で発生しました大規模物流倉庫での火災を受けまして、各企業からも屋内消火栓の使用について、多数要望もあり、事業所等の研修用として屋内消火栓を使用した放水訓練を行ってもらえるよう、Fコースを新設しております。

なお、Fコースにつきましては日時を限定して行っておりますので、まだ多くの方たちに体験をしていただいておりますが、少人数制で企業様の団体対象ということもあり、体験中にいろいろ質問が出たり、体験後の感想を聞きますと、非常に良い体験ができたというお声をいただいております。また、近日の実施予定日はほぼ予約で埋まっている状態となっております。

今後も様々な社会的な事象や市民からの要望も考慮しながら対応していきたいと考えております。

なお、本会議の後半にアドバイザーの皆様にも、実際にFコースに新設いたしました放水体験を行っていただくと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

続きまして8ページをご覧ください。またお手元にも当シートを御用意しておりますのでそちらもご覧ください。

②ワークシート、クイズシートの作成についてですが、高石市の向陽小学校の先生が来館された時に、非常に熱心に指導されていたのを、あべのタスカルのアテンダントから情報提供がありましたので、その先生に連絡を取り、来館前の学校の先生たちに、事前に学習していただけるワークシートの作成について御意見を頂き作成しました。

9ページ、10ページをご覧ください。またお手元にも当シートを御用意しておりますのでそちらもご覧ください。

また、実際にその先生が使用されていたワークシートを参考にしながら来館前、来館時に、さらなる学習効果が見込まれるワークシートを作成しました。

これらのワークシートにつきましては、学校からの電話予約をいただいた際に、ホームページに当ワークシートをアップしている旨を紹介するとともに、来館した先生に配布をおこなっております。

来館される学校の先生の中には、ホームページから印刷して当日お持ちになる方もおられ、その方にアンケートをとりますと、事前に子どもたちに考えるきっかけを与えることができ、事前学習や事後学習に非常に参考になる教材ですという御意見もいただいております。

11・12・13ページをご覧ください。

またお手元にも当クイズシートを御用意しておりますのでそちらもご覧ください。

クイズシートにつきまして、あべのタスカルに来館し体験いただくだけではなく、体験後にも自宅等で楽しみながら事後学習ができるクイズシートを、お子様から大人まで幅広い年齢層に応じた「かんたん」「ふつう」「むずかしい」の3種類を作成し、来館時に配布するとともにホームページにもアップしております。

なお、昨年行っておりましたタスカルVRにつきましては、コロナ禍で来館ができない状況の中でもWEB環境を活用して、御自宅や職場などからも「あべのタスカル」を体感していただけるよう、防災体験学習エリア

内を3DビューとVR（バーチャルリアリティ）でご覧いただける「タスカルVR」を作成し公開しておりますが、コロナの感染状況につきましても少し落ち着きを見せてきており、現在ではあべのタスカルに来館して体験していただけるようになってまいりました。現在また感染が心配な状況ではありますが、今後もどんどんタスカルに来ていただき、体験を通じて学んでいただきたいと思いますので、終了といたしました。

14 ページをご覧ください。

③ラインスタンプにつきましては令和4年3月から販売を開始しております。売れ行きについてはまだまだ伸び悩んでいるところで、現在のダウンロード数は70ほどとなっております。なお、前回の会議でアドバイザーの皆様から御提言いただいております。来館者やラインの友達登録をしていただいた方に、無料配布を行うことについては、いろいろ検討いたしましたが、ライン側のシステムや予算の関係などもあり、実施できないと考えております。

15 ページをご覧ください。

④イベント等の再開につきましては、コロナ禍ではございますが、感染対策を行いながら令和4年度の事業計画書のとおり、各イベントを行っております。5月のゴールデンウィークに行いましたイベントでは、3日間で1,600人を超える方々に来館していただくことができました。来館された方たちも、コロナ禍において様々なイベントが中止になっていたこともあり、今回のイベントを非常に楽しみにされていたというお声もいただいております。

16 ページをご覧ください。

次の大きなイベントにつきましては8月の4日～7日の4日間、海上保安庁、自衛隊、大阪管区气象台と協力して「あべのタスカル・サマーイベント2022」を実施する予定です。

各団体様の防災パネルの展示や、自衛隊の装甲車両の展示など、防災センターのみではできない内容を、各団体とコラボすることによって、より幅広く防災について楽しく学んでいただきたいと思います。

17 ページをご覧ください。

「レスキューパンダたすける」の活用としましては、来館記念のスタンプカードを作成し、5回来館いただきスタンプがたまると、記念としてたすける人形をプレゼントしようと思っております。また、プレゼントを予定しているたすける人形よりも少し大きなものも物販コーナーで販売する予定でございます。

現物につきましては現在発注中でありまして、手元にはございません。納品は9月下旬になる予定となっております。

以上で前回までの課題に対する対応状況についてでございますが、何かお気づきの点がございましたら御教示いただきたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願いたします。

#### ●座長

ありがとうございます。

前回皆さんから出た宿題にしっかり対応してくれた内容でした。

事務局より説明があり、これより審議に入りたいと思います。

皆様の意見をお願いします。

ラインスタンプに関して、実施不可とのことでしたがどのように難しかったのでしょうか？

#### ●事務局

ラインで無料配布をしようとする、何百万という金額がかかってしまい、予算上難しいということになります。

#### ●池内

実践的に取り組んでいて、とてもいいと思います。

私がいまだ知らない部分もあり、よくわかりました。

タスカルVRについては、先生方の事前学習にも使用できるのではないかと思います。

VRを公開しても、来館者数が減少するとは思えないです。私が学生たちを連れて行くときにも事前にタスカルVRを見せて説明したりしています。

また、近隣との取り組みもとても良いと思います。

具体的にどのようなことを実施するのでしょうか？

#### ●座長

池内さんの先ほどの御質問は次の説明につながるものですので、次に進めさせていただきます。

(2) 近隣施設をセットにした学習提案について審議に入ります。

事務局よりこの件について説明させていただきます。

#### ●事務局

18 ページをご覧ください。

近隣施設をセットにした学習提案及び、あべのハルカスとの協力についてでございます。

天王寺動物園や、あべのハルカス、てんしば、など多くの集客が見込まれる施設が近隣にございますので、何か協力体制をとって、さらなるあべのタスカルの集客に努めていこう、ということについてですが、現在、あべのハルカスの御協力をいただきまして、ハルカスの見学コースのお知らせの中に、タスカルのリーフレッ

トをセットにして、市内の全小・中学校に配布していただいております、それまでは全く来館いただいていた小学校や中学校からも団体で来館していただけるようになり、当センターへの集客に非常に効果的だと考えております。

19 ページをご覧ください

8月20日、21日に大阪商工会議所南支所様の主催で「あべの天王寺サマーキャンパス」が開催され、あべのタスカルにつきましても参加する予定となっております。

当イベントは、阿倍野・天王寺エリアの賑わいの創出、ならびに地域事業者の皆様への集客・販売促進支援を目的として開催するイベントとなっており、阿倍野・天王寺エリアを1つの「キャンパス」に見立てて、お子様から大人までファミリーでも楽しめる「体験プログラム」をリアルとオンラインで開催するとともに、対象店舗で飲食やお買い物をされたお客様等を対象にした「抽選会」やエリア内の商業施設等に設置されたポイントを巡る「スタンプラリー」が実施されます。

なお、あべのタスカルにつきましては、スタンプラリーポイントを設置する予定となっております。今後さらに、天王寺動物園やてんしば等とも協力しながら何か効果的な協力体制を進めてまいりたいと考えております。

ここで皆様に何か御意見をいただければと思いますので、御審議いただきたいと思っております。

●座長

事務局より説明があり、これより審議に入りたいと思っております。皆様の意見をお願いします。

●池内

夏のイベントはどのような内容でしょうか？  
たとえば大阪管区気象台さんは、どのようなことを啓発されるのでしょうか？

●事務局

大阪管区気象台は、集中豪雨があった際に今いる場所の危険性などがわかるサイト「キキクル」やパネル展示など、災害対策に有効な情報について啓発します。

●池内

5月のイベントで、消防はどのようなことをしましたか？

●事務局

ペーパークラフトや放水体験などを実施しましたが、特に注目されたのは水陸両用車の展示でした。非常に反響は大きかったです。

●池内

集客効果はありましたか？

●事務局

消防車を見に来る方が多く、そのまま来館してくれた方がたくさんいました。

●城下

5月のイベントで1600人お越しになったということでしたが、どのように集客されたのでしょうか？かなり御来場いただいている印象です。

●事務局

大阪市消防局のホームページや公式SNS、各消防署掲示板でのポスター掲出などです。

●城下

皆さん、何をきっかけに来場されているのでしょうか？アンケートはとられましたか？

●事務局

来場者様にお尋ねしたところ、消防署の掲示板を見て、という方が多かったです。朝の情報番組で、無料で行けるイベントとして取り上げてくれたことも影響がありました。

●城下

施設の紹介ですか？イベントの紹介ですか？

●事務局

イベントの紹介です。

●城下

学校向けのワークシートを拝見していて、当日学習用と事後学習用とのつながりがわかりづらいという印象を受けました。それぞれの種類のワークシートの趣旨は御説明いただいたのですが、関係性がわかりづらいと思われました。出し方としては、事前学習用と事後学習用とに分けてしまわず、一つの資料としてしまうという提供の仕方もいいと思います。例えば、ワークシートと館内地図をドッキングさせることも考えられます。事前と事後の資料が一つになっていることで、最初に子どもたちに防災センターでの学習の見通しを与えること

もできるのではないのでしょうか。ワークシートと施設での学びが一貫性のあるものとなればより良いと思います。

●左川

ワークシートはどんな種類のファイルがダウンロードできるんですか？

●事務局

ワード、PDF ともに提供しています。

●左川

編集できるデータでダウンロードできることはとてもいいと思います。学校や学年によって、難易度が変わるので良いと思います。

あと、タスカルVRについてはやめなくてもよいではありませんか？

訴求するところと体験するところ、うまく連動させて両方推進していけばいいのではないのでしょうか？

またFコースについてはどのような頻度で開催していますか？

●事務局

月に5回程度実施しています。

研修室の空き状況なども影響します。

●左川

せっかく商工会議所とイベントで連携するのであれば、この事業所向けコースを前面に出して進めてみてはどうか。事業所が「事業継続力強化計画（BCP）」に盛り込めるように活用を案内してはどうか？従業員の防災力の向上に繋がると思います。

●座長

では事務局から、VRをなぜ継続しないのか説明をお願いします。

●事務局

VRについては休館時についての措置としてスタートしたものです。

実施効果は非常に高いと思っていますが、継続するには費用が必要なため一旦休止しています。

またVR体験された方から、先に内容がわかってしまうという声もありました。

一度やめてみて、検証してみてもよいと考えています。

●座長

リアルとバーチャル、両方の良さをもう一度考えてもいいかと思っています。

あとワークシートに関しては、事前に防災に関心を持ってもらい、防災センターに来る目的や見通しを考えていただくという流れを重視して、防災センターともっと関連付けた資料にすれば、より効果的だと考えます。

ワークシートの公開はとてもいいと思いますが、より効果が高くなるように改善していくことも重要だと思います。

●事務局

現在もワークシートを使用された先生から御意見をいただくようにしています。

資料の改善につきましては検討してまいります。

●座長

事業者はここに来ていろいろ研修できるのがいいですね。

外国人従業員の研修もありますし、かなりニーズがあるのではないのでしょうか？

Fコースどれだけ人気があるか、期待できますね。

●城下

私も自衛消防隊の研修で、実際に屋内消火栓の体験をここでやりました。

実際にやってみて、とても勉強になりました。ここでしかできない体験というのはとても魅力的だと思います。今回Fコースが整備されたことはとてもいいことだと思います。

●座長

消火栓があっても使用する意識のない人も多い。使い方を知らない学生も多い。消火栓の使用方法は誰でも知っていなければならない事項なのでいいと思う。

次に近隣施設やイベントのことを聞きたい。

●池内

特別感のあるイベントがやはり人気だと思います。7月～8月上旬が一番いい時期。今回8月末のイベントは、時期としては落ち着いている時期。予定が空いている人は来てくれるかもしれないが、あべのタスカルが通常提供しているコースをイベントで提供しても人気が出るのでは。

なお、イベントに来た人が地域を循環している印象を与える工夫があればなおよい。

また、夏休みの宿題と連動させたり、宿題の補助になるイベントがあればより好評を博すのではないかと。

今の時代の人たちは、YouTubeなど最初に答えが見えているものの方が食いつきがいい時がある。

VRでネタバレという声もあったが、それくらい見せていても今の子は食いついてくれる。

●事務局

御意見ありがとうございます。

●城下

やはり体験するときに大きな失敗をしたくない、という意識はあると思います。どれくらいの施設で、どんなことができるかがある程度わかった状態でないと、来る気にならない人も一定数いるのではないかと。ある程度施設の情報を公開することは、安心して来場することにつながるのではないかと。私は施設の9割ぐらい事前に見せてもよいと思います。

●座長

事前学習と施設での学習、合わせ技で実施するととても効果的であると思います。組み合わせることで理解力がとても高まると考えます。

私の意見ですと、例えば動物園にも防災のシステムはあるわけです。

他施設の防災システムに関するクイズに、あべのタスカルで正解できれば人形がもらえる、両方に行かないと正解がわからないし景品ももらえないという、他施設との関連した仕組みを作れば効果が高いのではないかと。今後いろんな施設に行ったときに、防災システムを気にするなど、良い効果が期待できると考えます。ただ単に紹介しあうだけではなくて、よりよい連携の仕組みを検討する必要があります。

●左川

スタンプラリーはどうでしょうか？

●座長

スタンプラリーなど、連携はいろんな手法がありそうですね。意識づけのきっかけになるとと思います。

●城下

学校の先生方とお話していると、一貫性やまとまりが欲しいと言われることがある。

ある日突然カリキュラムが変わることは、子どもに戸惑いを与える。

コアとなるテーマ「防災」をテーマにほかの施設も回るなど、一貫性があるものの方が受け入れられやすいのではないかと。

たとえばハルカスであれば、高層ビルならではの防災システムがあるでしょう。

そんな視点で回ってもらえるようなものがあるのでは？

●座長

施設の単なる紹介ではなく、先生が紹介できる豆知識のようなものがあればぐっと面白くなる。

簡単な豆知識や防災に関する資料など、お渡しできるものがあればよいのではないかと。

例えば動物園が震災にあっても、檻は本当に壊れないのか？安全なのか？など、施設の関係者にインタビューして資料作成したら面白いものができそうです。

●池内

8月20日のイベントではどのようなことをしますか？

●事務局

スタンプラリーのポイントとして参加します。

●池内

物販などがあればよりよいのではないかと思います。なぜなら、自分の経験で物販と組み合わせたイベントに参加したときに、どのようなものが売れるのか、利用者のニーズは何なのかを確認することができとても有意義だった。今回はしなくてもいいが、今後検討してはどうか？

●左川

コロナの関係で、世の中はオンライン化が一気に進んだ。コロナが収束しても、オンライン化は今後も続いていくと思う。今後もオンラインとリアルを組み合わせたいイベントを企画してはどうか。オンラインで知って興味を持ちリアルで体験。そのフォローをまたオンラインでしたり、オンラインで物を買うなどもよいと思う。

今後はオンラインのイベントを計画してはどうか？セミナーとかをオンラインで実施すれば、行かなくても聞いてみたいことを学習できるなど。今後オンラインのイベントは計画されていますか？

●事務局

現在のところ計画はありません。

●座長

いろんなイベントをされている。一つ一つきっちり評価をして、イベントの全体像、あり方を検討するというプロセスが大切ではないか。あまりイベントが多いと忙しくなりすぎるが、年間のイベントが現状でよいのかはしっかり検討する必要があるのではないかと。親子はとても重要なターゲット。また、お年寄りに来てもらうことはとても難しいと思います。

学校、事業所などは体験に来てくれるが、体験に来ない層をイベントでどう引き込むかを検討する必要がある。特にお年寄りには自分で自分の命を守らないといけない。お孫さんと一緒に来てもらえるとうれしい。

●城下

うちには小さい子がいますが、子連れでいろんなところに行くと泣いたりして迷惑をかけるのではないかと

いう心配があった。そんなとき、市のホールで「ゼロ歳から楽しめるコンサート」という広報があり、安心して参加できた。小さい子がいる御家庭でも来やすいイベントの広報をされてはどうか？  
子どもが騒いでも大丈夫だよ、という雰囲気を醸し出すことは、親御さんにとって重要だと思う。  
赤ちゃんを守るための防災イベントなどどうか？

●池内

うちの学生が「触って見れるものじゃないと意味がない」と言っていた。車椅子や応急手当の方法など、タスカルに来ないとできないことをピックアップして、提供するようなものがあるのでは。  
赤ちゃん、おじいちゃんおばあちゃんデーなどを作ってもいいのでは？

●城下

クイズシートはどのようなタイミングで渡していますか？

●事務局

体験にこられた親子にお渡ししています。

●座長

お土産で渡されたらやってみようという気になりますね。

それでは(3)新設したFコースの中の屋内消火栓の放水体験について皆様に体験していただくということですので、事務局よろしくお願ひします

●事務局

では、これより皆様に今年度新設しましたFコースの内の屋内消火栓を使用した放水体験を行っていただくと思います。  
当会議室につきましては、係員が常駐いたしますが、貴重品等はお持ちになっていただきまして、3階の防災センター総合訓練室まで移動をお願いいたします。

(放水体験実施→終了後会議室に移動)

●座長

その他、何かございませんか？  
なければ、先生方から一言ずつお言葉をいただけますか？

●池内

ぜひ屋内消火栓コーナーの活用をお願いします。  
とてもいい体験だと思います。

●左川

最後の屋内消火栓コーナー、とてもよかったです。  
自分で使うという意識が、昔は私もありませんでした。  
実際に水圧などを体感することはとてもいいですね。

●城下

私も久々に放水体験をしてとてもよかったです。なかなか体験できないことですし、事業所への教育についてはスプリンクラーの止め方なども有意義だと思います。もしFコースに時間の余裕があれば、SPの止め方も情報提供してもいいのでは。  
あと、キャラクターやロゴに関してもう少し広報してもいいのでは？クイズなどでも防災ばかりの内容ではなく、キャラクターの名前を問うものなどでもいいと思います。  
タスカルのロゴもとてもよく考えられているので、いろんな角度から活用できるといいなと思います。

●座長

今後も現場でサポートされている職員の方が感じたことをお聞きできれば、よりよい改善につながると思います。御検討ください。

本日は、いろいろと意見をいただきありがとうございました。  
それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。

(4)「その他」として次回の会議の開催について、事務局から説明いただきます。

●事務局

次回の会議については、各委員の先生方からいただいた意見や、指定管理者から提案された内容をもとに会議資料を作成し、開催させていただきたいと考えております。なお、日程につきましては今年度と同様の時期を考えておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。  
なお、当アドバイザー会議の会期につきましては令和5年8月までとなっておりますので、次回で最終回と

させていただきたいと存じます。

また、令和6年度には次期の指定管理予定者の選定を踏まえ「指定管理予定者選定委員会」を開催させていただこうと考えており、当アドバイザー会議につきましては、次回にて今期の指定管理期間内での開催を終了させていただきたいと思っております。

事務局からは、以上です。

●座長

以上で本日の議題は、すべて審議していただきました。

●事務局

本日は、熱心な御議論をいただきありがとうございました。

今回、委員の皆様からいただいた御意見をもとに、指定管理者とも協議調整のうえ、今後もあべのタスカルの運営をより良いものにしていきたいと思っております。

これを持ちまして、第3回あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議を閉会させていただきます。

皆様本日は、どうもありがとうございました。